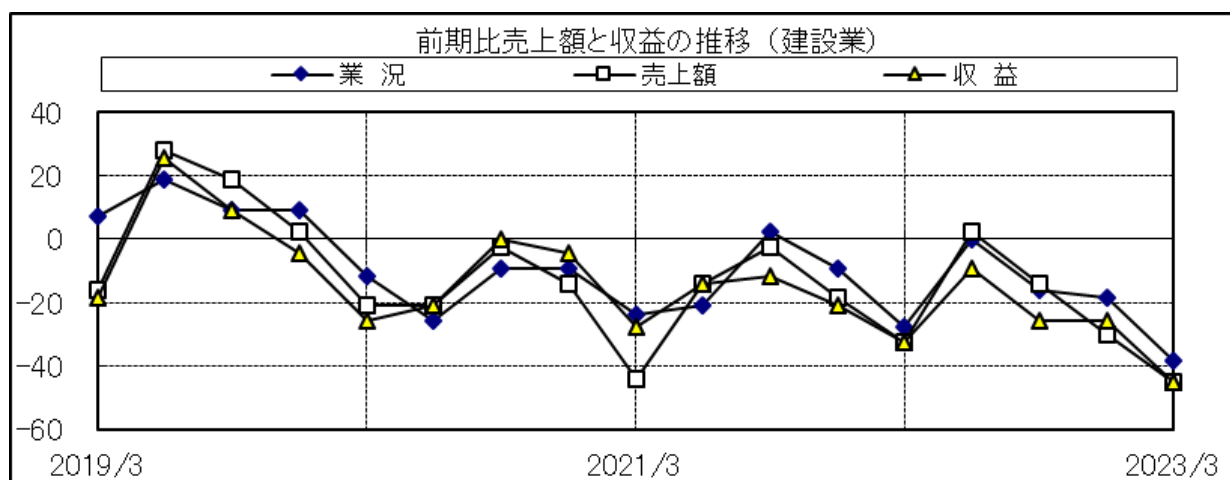


## 建設業 43 企業（回答率 100.00%）の調査結果です

### □ 景 況

DI 値 の推移	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期見通し
業 況	-16.3	-18.7	-38.2	-30.9
売上額	-14.3	-30.2	-45.2	-2.4
収 益	-25.7	-25.6	-45.3	-16.7

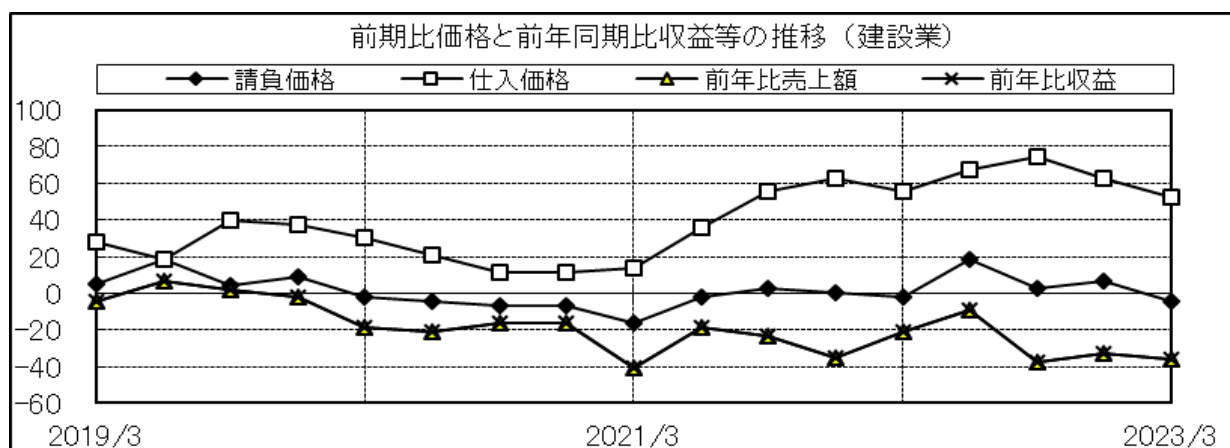
今期の業況判断 D. I. は△38.2 で、前期比 19.5 ポイント下降。前年(△27.8)比 10.4 ポイント下降した。地区別 D. I. の水準は高い順に、広尾が最も高く、次に浦河、三石、様似・えりもが同率で続き、静内が最も低い水準となった。売上額判断 D. I. は、△45.2 で、前期比 15.0 ポイント下降。収益判断 D. I. は△45.3 で、前期比 19.7 ポイント下降した。



### □ 価格面の動き・前年同期に比した動き

DI 値 の推移	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期見通し
請負価格	2.4	6.9	-4.8	9.5
仕入価格	74.4	62.7	52.4	56.2

請負価格判断 D. I. は△4.8 で、前期比 11.7 ポイント下降。前年(△2.4)比 2.4 ポイント下降した。仕入価格判断 D. I. は 52.4 で、前期比 10.3 ポイント下降、前年(55.8)比 3.4 ポイントの下降となった。



### □ 雇用面の動き

DI 値 の推移	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期見通し
残業時間	-22.0	-4.6	-4.8	-7.1
人手状況	-32.6	-30.2	-28.6	-23.8

残業時間判断 D. I. は△4.8 で、前期比 0.2 ポイント下降し、残業時間が減少したとする企業割合は若干増えた。

人手過不足判断 D. I. は△28.6 で、前期比 1.6 ポイント上昇し、人手不足感は弱まった。

## □ 設備投資の動き

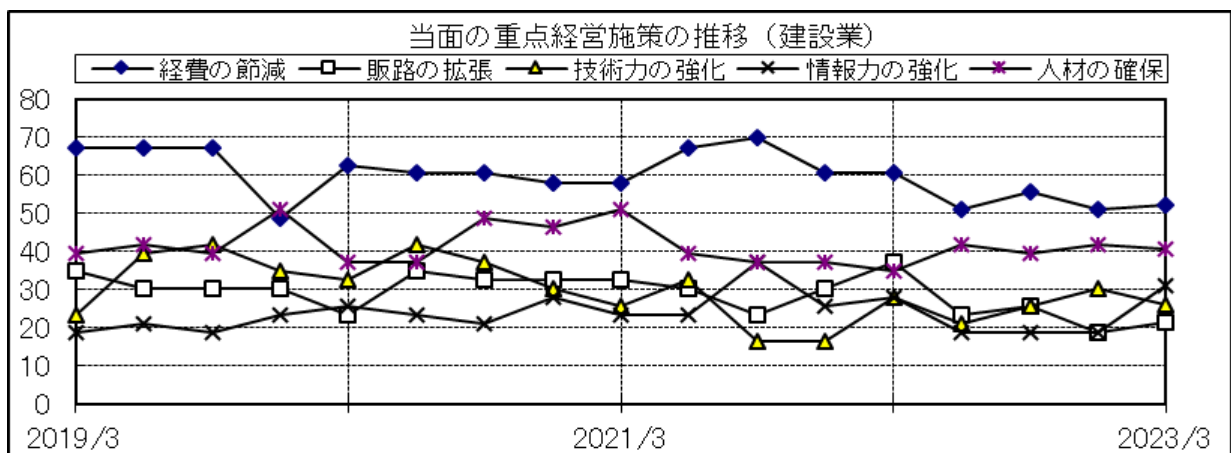
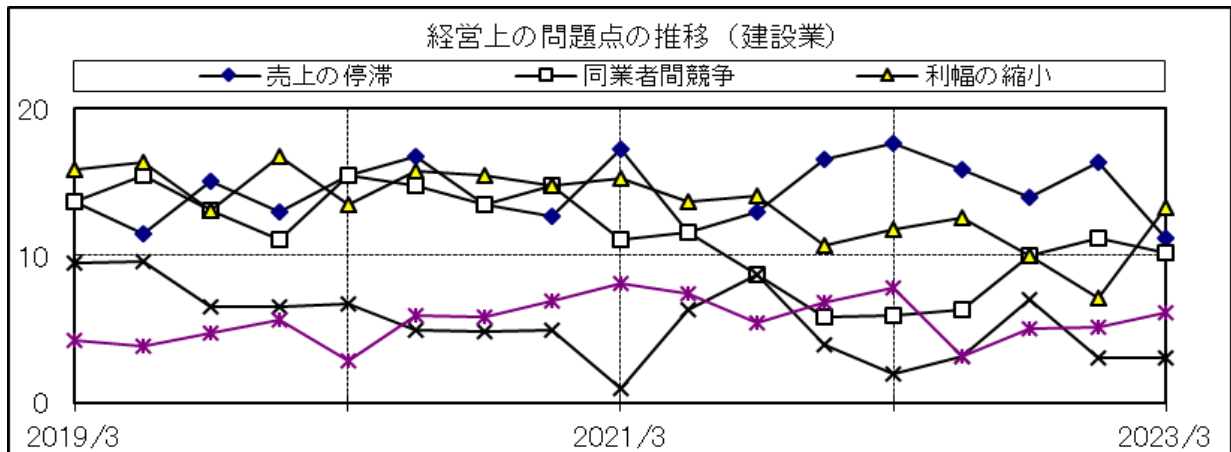
設備投資の充足感を示すD. I. は0.1で、前期(△4.7)比4.8ポイント上昇した。

設備投資実施企業割合は14.3で、前期(14.0)比0.3ポイント上昇した。設備投資は、前期6社に対し、6社の実施となった。来期の設備投資は、3社の予定となっている。

## □ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「材料価格上昇」が24.5%と最も多く、次に「人手不足」・「利幅縮小」が13.3%、「売上停滞減少」11.2%、「同業者競争」10.2%、「下請確保難」9.2%、「地場産業衰退」6.1%、「技術力不足」4.1%、「人件費増加」3.1%となっている。

重点経営施策では、「経費節減」が52.4%と最も多く、次に「人材確保」40.5%、「情報力強化」31.0%、「技術力強化」26.2%、「販路拡大」21.4%、「新工法導入」7.1%となっている。



## □ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は△30.9と、今期比7.3ポイントの上昇を見通している。

予想売上額判断D. I. は△2.4と、今期比42.8ポイントの上昇を見通している。

予想収益判断D. I. は△16.7と、今期比28.6ポイントの上昇を見通している。

予想請負価格判断D. I. は9.5と、今期比14.3ポイントの上昇を見通している。

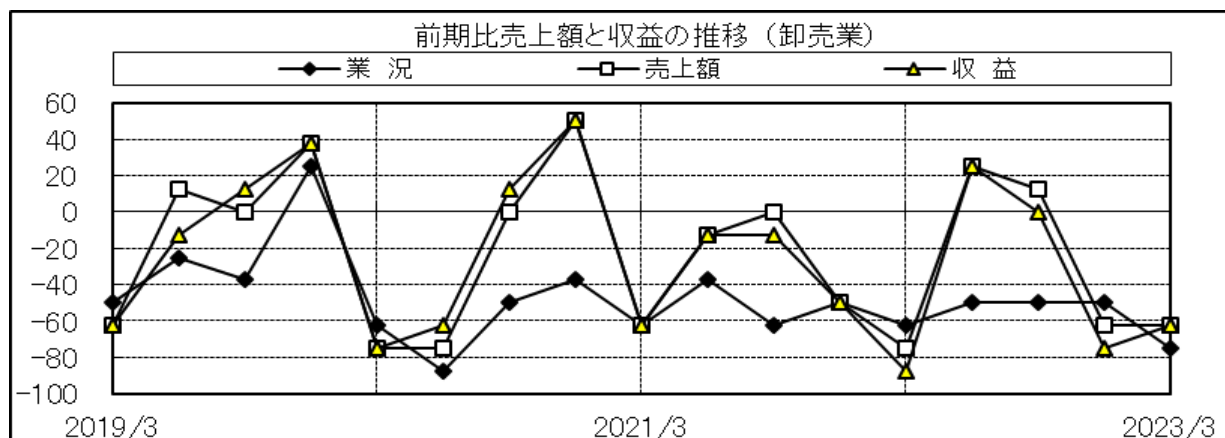
予想仕入価格判断D. I. は56.2と、今期比3.8ポイントの上昇を見通している。

## 卸売業 8企業（回答率 100.0%）の調査結果です

### □ 景況

DI 値 の推移	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期見通し
業況	-50.0	-50.0	-75.0	-37.5
売上額	12.5	-62.5	-62.5	12.5
収益	0.0	-75.0	-62.5	12.5

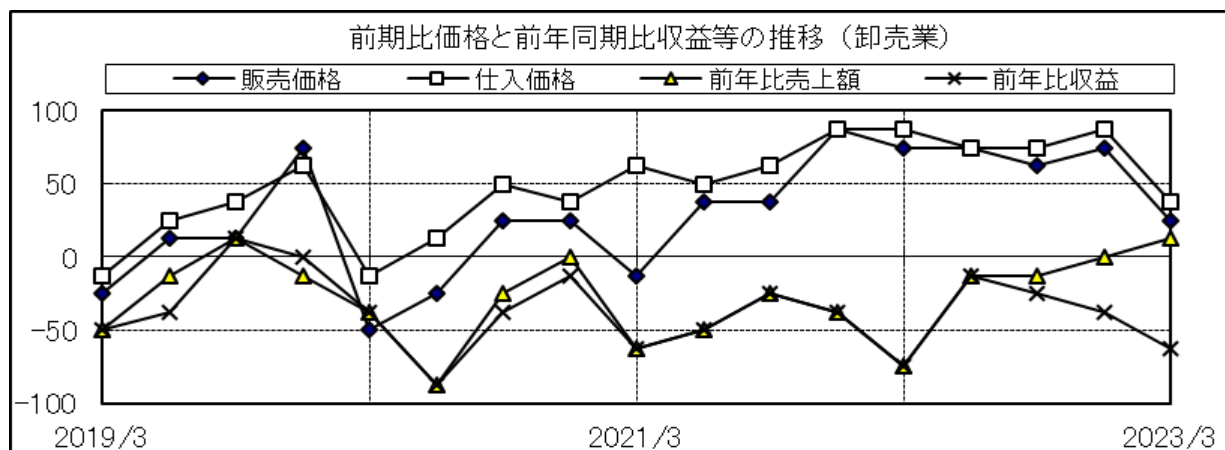
今期の業況判断 D. I. は△75.0 で、前期比 25.0 ポイント下降した。前年(△62.5)比 12.5 ポイント下降した。地区別の水準は、浦河地区は横這い、静内・様似地区は下降となった。売上額判断 D. I. は△62.5 で、前期と同水準となった。収益判断 D. I. は△62.5 で、前期比 12.5 ポイント上昇した。



### □ 価格面の動き・前年同期に比べた動き

DI 値 の推移	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期見通し
販売価格	62.5	75.0	25.0	50.0
仕入価格	75.0	87.5	37.5	50.0

販売価格判断 D. I. は 25.0 で、前期比 50.0 ポイント下降した。前年(75.0)比 50.0 ポイント下降した。仕入価格判断 D. I. は 37.5 で、前期比 50.0 ポイント下降。前年(87.5)比 50.0 ポイント下降した。業種別では、水産業は、販売・仕入価格ともに下降。食品業は、同横這いとなった。



### □ 雇用面の動き

DI 値 の推移	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期見通し
残業時間	12.5	0.0	0.0	0.0
人手状況	0.0	0.0	0.0	0.0

残業時間判断 D. I. は 0.0 で、前期と同水準となり、残業時間に変化は無かった。

人手過不足判断 D. I. は 0.0 で、前期と同水準となり、人手不足感に変化は無かった。

## □ 設備投資の動き

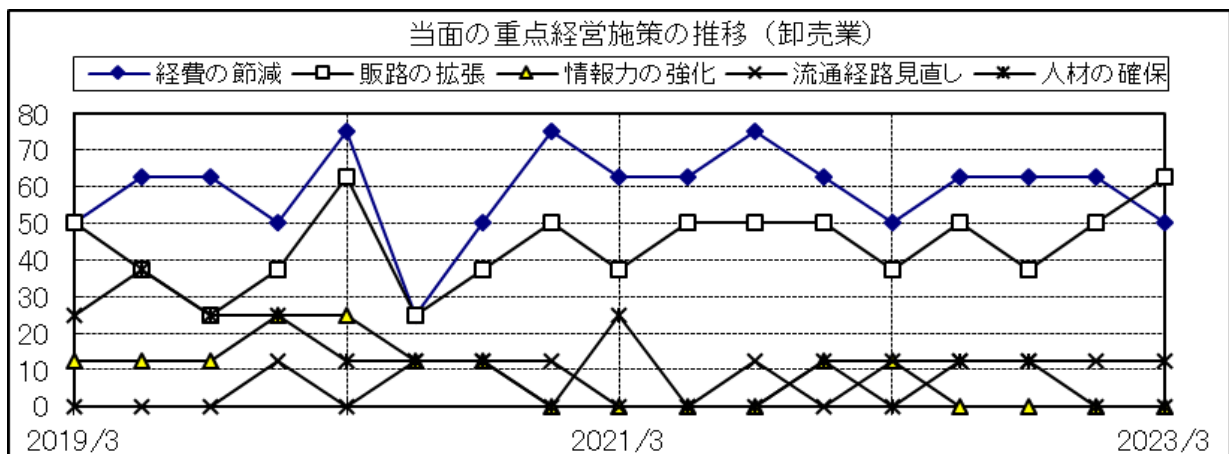
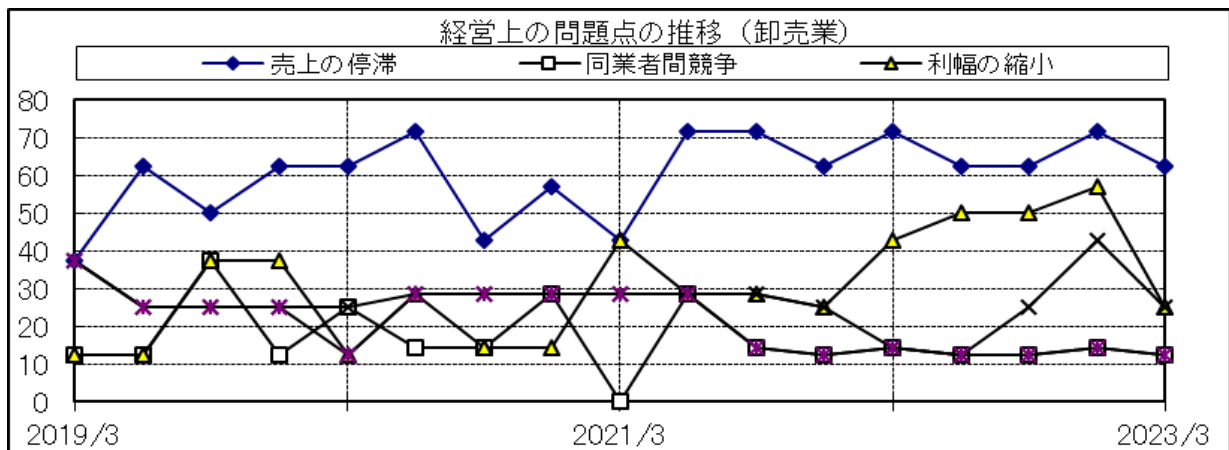
設備投資の充足感を示すD. I. は0.0で、前期(0.0)と同水準となった。

設備実施企業割合は12.5で、前期(25.0)比12.5ポイント下降した。設備投資は、前期2社に対し、1社の実施となった。来期の設備投資予定はゼロとなっている。

## □ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上停滞減少」が62.5%と最も多く、次に「利幅縮小」・「値上要請」・「取引先減少」・「店舗老朽化」が25.0%、「同業者競合」・「販売商品不足」・「人件費増加」・「諸経費増加」・「天候不順」・「地場産業衰退」・「為替レート変動」が12.5%となっている。

重点経営施策では、「販路拡大」が62.5%と最も多く、次に「経費節減」50.0%、「品揃え充実」・「新事業開始」・「流通経路見直し」・「取引先支援」・「不動産有効活用」が12.5%となっている。



## □ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は△37.5と、今期比37.5ポイントの上昇を見通している。

予想売上額判断D. I. は12.5と、今期比75.0ポイントの上昇を見通している。

予想収益判断D. I. は12.5と、今期比75.0ポイントの上昇を見通している。

予想販売価格判断D. I. は50.0と、今期比25.0ポイントの上昇を見通している。

予想仕入価格判断D. I. は50.0と、今期比12.5ポイントの上昇を見通している。